

] 10 5r •

KAWASAKI STEEL GIHO

Vol.14 (1982) No.3

-%0 5r d"">/0)X d " i P0Ž!T _ > E • , %o ' b i Ü i å Á ~ «7Ý ;

Air Pollution Control by a New Clean House System for Arc Furnace

‘ “] (Takeshi Kosukegawa) ±1Å f • (Takashi Otani) g.(2 ... (Sadayuki Saito) 15 x U4{ (Senzaburo Hirano) ~#ä ‡ § (Shunji Hamada) ,.(1 i (Yuzuru Sato)

0[“ :
\\&k b « , å b «0 4 b0)X4Š6Û † -%0 5r d"">/0)X d _)+ œ M •0£#ì c>* 1981 ° 4
v_ P0Ž!T b' · [>"">/ •7u †) < S G € _ | ~>* P0Ž!T ? K-BOP 2 _ | • « , å b
«0 4 É ß - « @ ö B K S G b P0Ž!T b 0 ï _ 6 S W Z c>*(i ; x9•8b b\$î#Ö † q `7H
_ > I < • S u b4Ä Ö @ ^ I € S G b S u>*!T ² / †5ö È0 b [V ‡ [7Ý ; †/œ :>
i Ü i å Á ~ « %o ' † ¥ • [c L u Z6ä\$î K S G b) Ý>*(i ; x9•8b c8 – _ a ^ C ^
~>*, ö ^ 8 #” C @ “ } € S r S>* Ü •\$x _ >*!T b!Ö "á b ¥ V x>*’E(ò4ß i" @ b ö
a \ 8 : Ó Ü µ ° v “ } € S

Air Pollution Control by a New Clean House System for Arc Furnace

小助川 卓*
Takashi Kosukegawa

大谷 尚史**
Takachi Otani

斎藤 貞之***
Sadayuki Saito

平野 浅三郎****
Senzaburo Hirano

浜田 俊二****
Shunji Hamada

佐藤 譲****
Yuzuru Sato

ていた。しかし、この方式は、建家集塵の集煙効率が悪いなどのために、強風下などの気象条件によっては、建家外に煙がもれことがある。また、炉より排出されたダストが、炉周辺に堆積し、炉廻りや、製鋼工場内の作業環境を悪化させている。

一方、アーク炉からは、最大120dB(A)以上の

騒音が発生する。炉廻りは、炉本体の構造

業を行うための、ガ前扉を設けた。この扉をあけなくても、ガ内監視や酸素吹精作業ができる様に、のぞき窓や小扉が付属している。

(3) 出鋼扉

出鋼時、溶鋼鍋をハウス内に入れるための、出鋼扉を設けた。

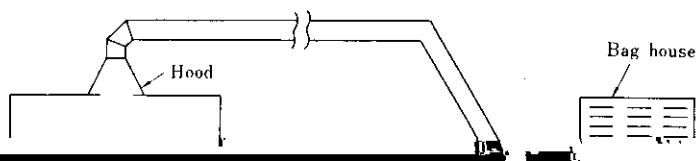


4. クリーンハウスの効果

4-1 対粉塵面での効果

め、炉の上方、屋根直下に天井フードを設けて、直接吸引集塵のバックアップを行う、いわゆる建家集塵を併用するのが通例である。この直接吸引

本アーク炉の様に、スクラップの溶解のみを目 それらをあげると以下の様になる。



立っている。また、集塵に要する風量が、従来方 加する必要がある。

法よりも多くなることから、新方式では、袋式集塵機を採用して、既存の袋式集塵機と比較して、運転費を削減する目的で、新方式を採用した。

をおさえる目的で設置されたものである。

min¹

以上の結果を Table 1 に示す。クリーンハウスを設置する工場のローカルな条件のために、前述の差の値は変化するであろうが、基本的に、クリーンハウス方式は、従来方式に比べ、イニシャル

ハウス内雰囲気温度が許容値を超えない風量を設定してある。しかし、サイレンサー付大気導入口が、取り合い上、1箇所しか設けられなかったことにより、ハウス内で空気の偏流が生じたこと、原

今後は、クリーンハウスの耐久性や、より効果的な熱対策について、フォローしていく所存である。木クリーンハウス出社と石川島

おわりに、建設に協力していただいた、石川島播磨重工業(株)の設計および工事関係者に、感謝の意を表します。

播磨重工業(株)とで、特許出願中である。